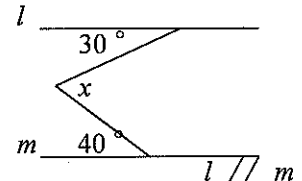
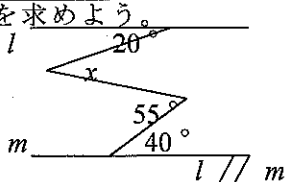
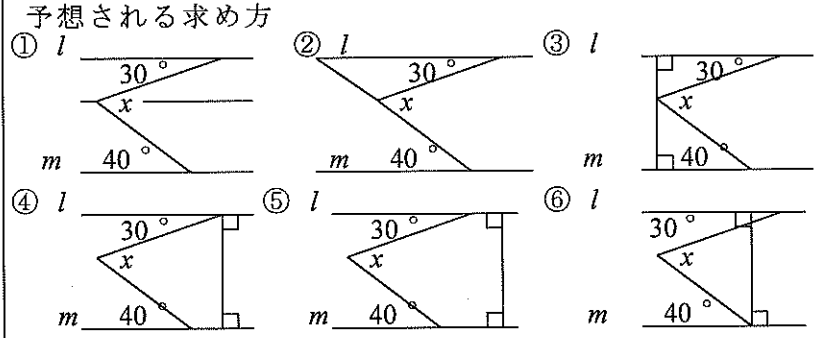
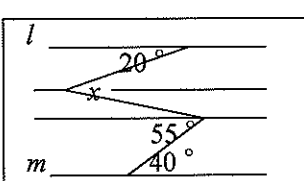


言語技術の効果的な活用・言語活動の充実を図った  
数学科の授業実践例

江田島市立能美中学校

- 1 学年・単元名 第2学年 図形の性質の調べ方
- 2 本時の目標 既習事項（図形の性質）を用いて、いろいろな考え方で角の大きさを求め、説明することができる。
- 3 本時の工夫点 ①いろいろな考え方で求められる課題を提示する。  
②途中で思考の手だてとなる補助線を提示し、思考を促す。  
③発表ボードで考えを整理させた上で、指示棒を使って発表させる。
- 4 学習の展開

| 学習活動   | 指導上の留意事項  | 評価規準<br>(評価方法)  |
|--|---|---|
| <p>1 課題をつかむ。<br/>本時の目標<br/>「いろいろな考え方で角の大きさを求める」</p> <p><b>課題1</b><br/>∠xの大きさを求めよう。</p>  <p>2 自分の考えをもつ。<br/>・補助線の引き方。<br/>・どの性質を使うか。<br/>・式を書く。</p> <p>3 発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>・6つの考えを6つの班で分担して、発表する。</p> </div> <p>4 検討する。<br/>・6つのうち、一番簡潔なものはどれだろうか</p> <p><b>課題2</b> ∠xの大きさを求めよう。</p>  <p>5 ふり返る。</p> | <p>・既習事項の確認をさせる。<br/>・ことばで正確に習得しているか押さえる。<br/>・図や式も合わせて提示する。<br/>「対頂角の性質、平行線の性質<br/>多角形の内角の和・外角の性質」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>← 様々な考え方で求められる課題の提示</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>予想される求め方</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>← 様々な角度から物事を見る技術</p> <p>・手だてとして補助線を提示する。<br/>・考えを記述させ、思考を整理させる。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>← 受け答えをする技術</p> <p>・班ごとに発表ボードに整理させる。<br/>・どの性質を使ったか明確にさせる<br/>・考えを比較させながら聞かせる。<br/>・指示棒を使って前で説明させる。</p> </div> <p>・ボードへの整理が早く終わった生徒には、類題を与える。</p> <p>・①が一番簡潔である。</p> <p>・A評価の生徒については、他の方法で求めるよう指示する。</p>  <p>・授業のふり返りを書かせる。</p> | <p>・図形の性質を用いて、いろいろな方法で角の大きさを求めることができる。<br/>(観察・ノートの記述)</p> <p>・角の大きさの求め方を、根拠を示しながら説明することができる。<br/>(発表内容・ノートの記述)</p> |